

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 火曜1-4限	教室名	302・PCルーム、ロボット製作実習室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う						
1 提出物、発表内容:35%						
2 授業態度、姿勢:35%						
3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第2回	講義を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第3回	講義を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第4回	講義を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第5回	講義を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用したのニーズ調査と論文講読	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		テキスト等	インターネット、図書室、テキストを使用してのニーズ調査と論文講読
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第7回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		パワーポイント	発表用資料の準備
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第8回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		パワーポイント	発表用資料の準備
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第9回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第10回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第11回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第12回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第13回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第14回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			
第15回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 火曜1-4限	教室名	302・PCルーム、ロボット製作実習室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う</p> <p>1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>これまでのテキスト、マニュアルなどを使用</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作テーマ検討、調査と報告・相談、指導				
第17回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作のテーマ発表				
第18回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	世の中のニーズを理解し、課題を検討し制作物の企画立案と制作スケジュール、予算管理ができる		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人別の卒業制作のテーマ発表				
第19回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第20回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第22回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第23回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第24回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第25回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第26回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第27回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第28回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第29回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第30回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 火曜1-4限	教室名	302・PCルーム、ロボット製作実習室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
《授業科目における学習内容》						
卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。						
《成績評価の方法と基準》						
制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う 1 提出物、発表内容:35% 2 授業態度、姿勢:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
これまでのテキスト、マニュアルなどを使用						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室を利用した文献調査、課題制作、発表準備						
《履修に当たっての留意点》						
卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第31回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第32回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第33回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第34回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第35回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第37回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第38回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第39回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第40回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第41回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第42回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第43回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第44回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第45回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	卒業制作		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	ロボット専攻 3年		学期及び曜時限	前期 火曜1-4限	教室名	302・PCルーム、ロボット製作実習室
担 当 教 員	若林 健一	実務経験とその関連資格	シャープ株式会社にて産業向け・家庭向け機器の企画・開発業務を20年間、新規事業開発を3年担当。講義内容に関わる、プロジェクトの企画から設計・開発・リリースまでを一貫して行っている。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>卒業制作のテーマ検討、計画立案、準備、作業、ディスカッション、発表準備、プレゼンテーション等を通じ、3年間学び得た知識・技術をまとめた制作物を作成し、知識・技術の向上及び定着、社会人基礎力の向上を図り、社会人となる準備となす。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>制作に対する取り組みの姿勢と役割、グループへの貢献を考慮して評価を行う</p> <p>1 提出物、発表内容:35%</p> <p>2 授業態度、姿勢:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>これまでのテキスト、マニュアルなどを使用</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室を利用したの文献調査、課題制作、発表準備</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>卒業制作は、これまで身に付けた技術・知識を向上させ、実践力を高め、即戦力足り得る社会人を目指す良い機会となる。課題・製作物、結果を意識して取り組むことを望む。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第46回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第47回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第48回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第49回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				
第50回	講義を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。	
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第52回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第53回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第54回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第55回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第56回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマに沿って、課題の発見・解決、制作スケジュールの立案、予算管理、ディスカッションができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第57回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	中間報告会			
第58回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	テーマについての的確にプレゼンテーション及びディスカッションができる。		パワーポイント	報告会用発表準備
	各コマにおける授業予定	中間報告会			
第59回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			
第60回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	中間報告会の指摘事項を受けて、課題・問題点の解決、今後の方針、制作スケジュール・予算の再考ができる。		研修日誌 報告書 成果物(途上)	研修内容・課題等に即して、企画・制作・まとめ・報告(発表)等の準備を行うこと。
	各コマにおける授業予定	個人・チーム・学外提携先 それぞれのテーマに沿って、検討・調査・制作・実験及び報告・連絡・相談そして指導を行う。			